

検査項目	検査項目の意味
1 内科診察 	当院専門医師が診察（触診，打診，聴診等）を行い、病気の発見に努めます。

身体計測															
標準体重	標準体重 (kg) = 身長 (m) × 身長 (m) × 2.2 標準体重は成人の目標体重の指標となります。														
B M I	<table border="1"> <thead> <tr> <th>B M I</th> <th>肥満区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18.5未満</td> <td>低体重</td> </tr> <tr> <td>18.5以上25未満</td> <td>正常体重</td> </tr> <tr> <td>25以上30未満</td> <td>肥満度1</td> </tr> <tr> <td>30以上35未満</td> <td>肥満度2</td> </tr> <tr> <td>35以上40未満</td> <td>肥満度3</td> </tr> <tr> <td>40以上</td> <td>肥満度4</td> </tr> </tbody> </table> <p>肥満と判定された方の20%～30%の方に筋肉と骨の多い方がいます。 低体重、普通の判定で10%の方に体脂肪の多い方がいます。</p>	B M I	肥満区分	18.5未満	低体重	18.5以上25未満	正常体重	25以上30未満	肥満度1	30以上35未満	肥満度2	35以上40未満	肥満度3	40以上	肥満度4
B M I	肥満区分														
18.5未満	低体重														
18.5以上25未満	正常体重														
25以上30未満	肥満度1														
30以上35未満	肥満度2														
35以上40未満	肥満度3														
40以上	肥満度4														
肥満度	10%を超えると肥満のはじまりです。20%以上は完全な肥満です。														
体脂肪率	体重に占める脂肪重量の割合をいいます。 男性は25%、女性は30%を超えた場合肥満と診断されます。 外見はほっそりとした人でも、筋肉量が少なく脂肪の割合が多ければ肥満と診断されます。 基準値 男性15～20% 女性20～25%														
腹囲	肥満は万病のもとです。 健やかに過ごすためにも体脂肪を低く抑えることをお勧めします。 腹囲はメタボリック症候群の判定をする指標になります。 基準値 男性85cm未満 女性90cm未満														

血圧測定	
最高血圧	血圧は心臓が血液を全身に送り出す際に、血管の中にかかる圧力を指します。 最高血圧は心臓が縮んで、血液を押しだす収縮状態の血管内の圧力の事です。 最高血圧 90～129mmHg
最低血圧	最低血圧は心臓が縮んだ後、元に戻った時の拡張状態の血管内の圧力の事です。 最低血圧 84mmHg以下
3 最高血圧 /最低血圧	<p>高血圧判定基準</p> <p>1) 130 / 85 mmHg 未満 …… 正常範囲</p> <p>2) 140 / 90 mmHg 以上 …… 高血圧</p> <p>3) 1) 2) のいずれでもないもの …… 境界域</p>
脈拍	脈拍は1分間に心臓が血液を送り出す回数です。 心拍数の基準値は60～80回ですので心拍数が50回以下や100回以上になると精密検査が必要です。

聴力	
4 右耳 1000Hz	周波数 125Hz～8000Hz（低音～高音域）の聴力を調べます。 1000Hzは会話領域を代表し、4000Hzは高音域に起こる難聴を早期に発見するために行います。
4000Hz	
左耳 1000Hz	聴力は激しい騒音内での生活により低下する場合があります。 また、一部の脳腫瘍などでも片側性に低下する場合があります。
4000Hz	聴力の基準値は1000Hzで30dBまで、4000Hzで40dBまでが聞こえれば問題ありません。